

本日、春の香りが満ち溢れるこの良き日、平成 31 年度鈴鹿工業高等専門学校専攻科入学式を挙行できますことを、大変嬉しく思います。学科での優秀な成績に基づいた推薦や、厳正な選抜試験を乗り越えて入学された 25 名の専攻科入学生の皆さん、誠におめでとうございます。教職員一同を代表して心からお祝い申し上げますとともに歓迎いたします。

高専の専攻科は、本科の教育の基礎の上に立って、専門領域における高度の知識・技能をさらに高めると共に、複合領域に対応できる幅広い視野を身につけ、高度の課題設定・問題解決能力を備えた創造性豊かな実践的技術者の育成を目指すものです。

本校の総合イノベーション工学専攻は、環境・資源、エネルギー・機能創成、ロボットテクノロジーの 3 コースからなり、グローバルエンジニアプログラムを有します。次世代の新技术を創成できる広い視野と幅広い知識をもつ国際的にも通用する創造的実践的技術者を養成することを目指しています。

皆さんは、専攻科修了時には、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位が授与されますので、誇りと気概を、そしてさらなる向上心を持ってこれからの学校生活を営んでいただきたいと思えます。ただ、ともすれば同じキャンパスで学業を営むこととなりますので甘えが生じるかもしれません。積極的に外の世界に接する努力をしてほしいと思えます。

ここで、2 年間の専攻科生活を送る上で大切にしていきたいことを述べたいと思えます。数多くの音楽家を育てた斎藤秀雄は、人間には肉体的・頭脳的に別個の「素質」があり、それを伸ばす「努力」と「注意力」、この三つを掛け算したところで成果が出るのだと言っています。足し算ではなく掛け算というところが重要です。「素質」があっても「努力」しなければ成果はゼロです。「素質」があっても「努力」をしても、勉強するときの「注意力」が足りなければ、やはり成果はゼロです。どんなところに注意して勉強すればよいのか、その「注意力」をつけることが大切です。「注意力」は学ぶことができます。皆さんは、学校で「注意力」を学び、身につけてください。学校を卒業して社会に出ても勉強は一生続きます。学校で身につけた「注意力」は一生の宝となります。

皆さんの中には、専攻科修了後に社会人として働く人も、また研究を続けるためにさらに大学院へ進学する人もいるでしょう。グローバルエンジニアプログラムを基礎としてヨーロッパや米国など海外の大学の大学院に進む人もいるかも知れません。専攻科 2 年間で自分の進むべき道を選んでください。未来の社会は皆さんが創るのです。次の社会の担い手になるべく、専攻科 2 年間の生活を有意義に過ごしてください。皆さんの更なる成長・発展を願って、お祝いのあいさつとします。

平成 31 年 4 月 4 日

鈴鹿工業高等専門学校長

吉田 潤一